

2015年8月17日

東武ワールドスクウェア株式会社

ユーシーカード株式会社

～訪日外国人向けサービス～

「多通貨決済サービス (DCC)」の取扱いを開始します

東武ワールドスクウェアにて 2015年8月19日より導入

東武ワールドスクウェア株式会社 (以下、東武ワールドスクウェア、本社：栃木県日光市) は、みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社 (以下、UCカード、本社：東京都港区) と提携し、海外のカードホルダーがカード決済時に自国通貨を選択できる「多通貨決済サービス (DCC : Dynamic Currency Conversion)」の取扱いを開始いたします。

東武ワールドスクウェアは、日本と台湾、台湾と日光市の更なる観光友好促進と地域活性化に取り組んでおり、2015年10月4日 (日) には、25分の1縮尺で製作した台湾のランドマーク超高層ビル「台北101」の展示を開始するほか、東武グループ全体としても、訪日外国人観光客向けサービスの拡充を図っています。今後台湾をはじめ各国から訪日外国人観光客の一層の増加が予想されます。

東武ワールドスクウェアは、2013年9月より銀聯カードを使用可能にする等、訪日外国人観光客が効率的に、便利に決済ができる環境の整備を進めてまいりましたが、さらに訪日外国人観光客の増加が見込まれることから、園内でクレジットカードを利用できる場所 (チケットブース・売店・レストラン等) を全7ヵ所へ拡充し、銀聯カードに加え、DCCを全店舗で取扱えるようにすることで、従来に増して訪日外国人観光客の利便性向上が図られることとなります。

UCカードは2009年に日本で初めてDCCビジネスに参入し、国内DCCアクワイアラとして最大の30種類の通貨対応、また、日本で唯一、複数メーカーの端末を供給できる体制を整え、業界を先導しています。さらに、機能面にとどまらず、外国人向けのサービスガイドを複数言語で作成する等、加盟店さまにとっても、カードホルダーの方にとっても、DCCが使いやすいものになるよう、長年のノウハウを活かし、常にサービス向上に取り組んでおります。

## ■DCC とは

DCC とは、海外でカード決済を行った際、「現地通貨」と「カードホルダーの自国通貨」の内、どちらで決済するかを選択できるサービスです。通常、訪日外国人のお客さまが自国（海外）で発行されたクレジットカードを日本で利用する場合、ご利用時には円建てで決済します。その後、カード発行会社が定める為替レートにて自国通貨へ換算された決済額がお客さまに通知され、利用額を支払います。DCC に対応したクレジットカード決済端末を使用すると、カードご利用時に自国通貨での支払金額がお客さまへ提示され、通常通りの円建て決済と、自国通貨決済の内、どちらかを選択できるようになります。自国通貨決済を選んだ場合、為替レートの変動リスクを心配することなく、安心して決済いただけることが特徴です。

### 《東武ワールドスクウェアにおける、DCC の取扱い通貨》 (29 通貨)

台湾（ドル）	アメリカ合衆国（ドル）	欧州連合（ユーロ）
オーストラリア（ドル）	香港（ドル）	シンガポール（ドル）
タイ（バーツ）	韓国（ドル）	中国（人民元）
マカオ（パタカ）	マレーシア（リンギット）	フィリピン（ペソ）
インドネシア（ルピア）	ベトナム（ドン）	インド（ルピー）
スリランカ（ルピー）	カナダ（ドル）	アルゼンチン（ペソ）
ブラジル（リアル）	イギリス（ポンド）	スイス（フラン）
デンマーク（クローネ）	ノルウェー（クローネ）	スウェーデン（クローナ）
ロシア（ルーブル）	サウジアラビア（リヤル）	UAE（ディルハム）
カタール（リヤル）	ニュージーランド（ドル）	南アフリカ共和国（ランド）

※韓国は米ドル建てで為替対応を行います